

小坂新調屋台(四代目)の紹介

四代目小坂屋台は三代目小坂屋台（子供屋台大）の高欄から下を平成二十年に毛利工務店にて新調しているのもそのまま使用し、飾り金具を新調しました。そして老朽化した屋根と装飾品を新調しました。小坂らしい本屋台とするため、菅原神社の彫刻・歴史と昭和八年新調の二代目屋台を参考にしました。

屋台本体	毛利工務店	四本柱芯：2尺7寸
露盤、狭間 彫刻	//	水切り巾：1,720 mm
幕、高欄掛け	//	全 長：7,000 mm
銚金具	竹内銚金具店	全 巾：2,500 mm
		全 高：4,200 mm

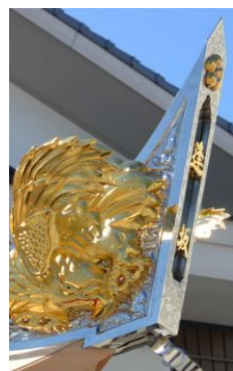


棟 * 垂木

屋台の印象を最も表す棟の形は水切り反りを少し大きくし、優美な曲線の棟にしました。垂木は二代目屋台と同じ三軒です。



総才端 逢坂



紋

梅鉢と星梅鉢です。



正角 * 拵組

菅原神社彫刻に多い獅子と獏です。



井筒端

星梅鉢 龍・虎・獅子

伊達綱 白金



太鼓打ち橋弁 四神

枝雀(南).白虎(西).青龍(東).玄武(北)

伊達綱

大幟

橋弁
朱雀
白虎
青龍
玄武

露盤

先代屋台と同様、龍二頭（阿吽）



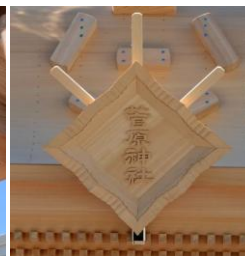
天井

打上げ天井



幣額

菅原神社幣額新調



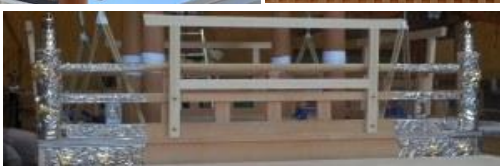
高欄(男柱)

御飯松と国主神社



高欄

松竹梅
波千鳥



高欄掛け

退治物



幕

龍二頭（阿吽）



狭間

（三面は二代目屋台の狭間図柄にしました。）
前面（菅原道真公遊歩の場） 後面（天の岩屋戸の変）



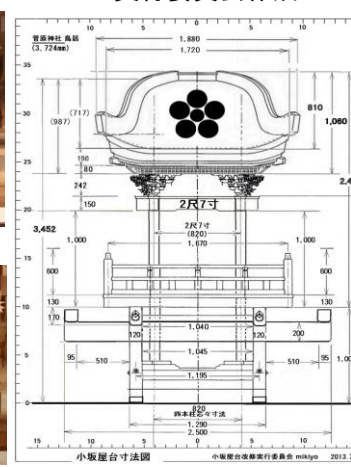
右面（布引滝四段目小桜責め）

左面（錦の御旗奪還）



寸法図

実行委員会作成



泥台

四本柱受け新調



脇棒受けに彫刻追加。

